

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	ネットワークアーキテクチャ論2		
英文授業科目名	Network Architecture 2		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報ネットワークシステム学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報ネットワークシステム学専攻		
担当教官名	大坐畠 智		
居室	IS-721		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ohzahata@is.uec.ac.jp	

【講義の狙い, 目標】
細かい技術の紹介よりも、なぜそのようにネットワークが作られたかというネットワークの設計原理を、代表的なネットワークの技術を通して、理解することで、今後のネットワークの設計、開発、研究に役に立つような、考え方を身につける。

【内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入(2回) ・ 物理層 (2回) ・ データリンク層 (2回) ・ メディアアクセスコントロール層 (2回) ・ ネットワーク層 (2回) ・ トランスポート層 (2回) ・ アプリケーション層 (2回) ・ ネットワークセキュリティ (1回) <p>取り扱う話題のキーワード：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークの種類とネットワークの抽象化手法 ・ MACプロトコル、無線LAN、有線LAN ・ IP ・ IPルーティング ・ IPv6 ・ TCP ・ モバイルネットワーク ・ アドホックネットワーク ・ P2Pネットワーク

電気通信大学 平成21年度シラバス

- ・ネットワークセキュリティ
- ・クロスレイヤ制御
- ・ネットワーク中立性、スケーラビリティ, End-to-End原理
- ・NGNとNWGN
- ・コンピュータシミュレーション、ネットワーク測定

講義に加えて、適宜、演習、輪講を行う。

【教科書，参考書】

授業中に資料を配布。

参考書として、

Computer Networks 4th edition, Andrew S. Tanenbaum.

【予備知識】

ネットワークアーキテクチャ論1を受講していることが望ましい。

【演習】

授業中に簡単な演習を行う。

【成績評価方法及び評価基準】

- ・授業中の発表（演習、論文購読）、レポートを総合して評価する。

成績の付け方：

レポート 30点×3回

出席点 1×15回

演習、輪講は 適宜加点

レポート+発表：

可 60点以上

良 70点以上

優 80点以上

- ・加点方式。積極的な授業への参加を希望する。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
特になし